

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	東かがわ市			代表者名	上村 一郎
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部財務課デジタル推進室	連絡先電話番号	0879-26-1215
担当者役職	室長	担当者氏名	植田 雅仁	連絡先E-mail	
住所	769-2701 香川県東かがわ市湊1847番地1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	次期 東かがわデジタル化推進戦略（仮称）
概要	次期5年間の戦略策定について、データ分析やAI活用について専門的なアドバイスを受ける。		
支援を求める分野	計画策定支援 オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI活用 生成AI活用		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	515	令和7年6月23日	事前打合せ&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年6月13日	事前打合せ&講演(実地)	13時30分	16時00分	
				活動時間（分）	150
2-2. 派遣場所	会場名	東かがわ市役所		最寄駅	讃岐白鳥駅
	所在地	東かがわ市湊1847-1		最寄駅からの交通手段	タクシーまたはバス

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	デジタルリーダーの改選により新しいデジタルリーダーにも分かるよう説明をしていただいた。また、先進自治体の事例を掲載した資料を用意いただき、今後、本市がどのようにAIを活用していくかの道筋について、講演をいただいた。これから先、人口減少と少子高齢化が加速するため、どのように業務を継続させていくか、また、職員数の減少によりいかにAIを活用するべきかについての説明を受けた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きよろしくお願いします。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	26人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	26	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	通常業務に時間が掛かり、職員がAI活用まで手が回らないという状況であるため、なかなか進まないことが懸念となっている。また、AIで何ができるのかといった、初歩的な知識がない事に恐怖すら感じている。AIを使った事がないデジタルリーダーも半数以上いることも懸念としている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	先ず、手始めにAIというものを知るための今回の講演を皮切りに、次期デジタル化推進戦略に掲載する各所属毎のAIを活用した具体施策の立案を目指す。また、AIを活用した政策立案に関しての助言をいただき、各デジタルリーダーを中心に組織内にAIの浸透を図りたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	正規職員と会計年度任用職員の違いから、正規職員は政策立案を求められているところが大きな違いであるとの指摘を受けた。今までの政策立案には、国の各資料を読み込み要点を整理して、市の課題解決に合致するものを検討して立案していたが、これからはこれらの作業をAIを活用して実施しなければ、人口減少に合わせて減少する職員数に対応することが出来ない時代が到来するとの助言を受けた。AIを市職員の中でもスーパー公務員として各部署に共存させて、様々な課題解決に活用していく事がこれから必要となるとの説明を受けた。また、講演後半には、先進自治体、特に政令市などの活用は始まっていることを資料を用いて説明いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	正規職員として、やらなければならない事を再認識させていただき、AIの活用の必要性をデジタルリーダーに共有することが出来た。また、業務活用事例を通じ各所属課で自分たちはどのようにAI活用するのか、参考資料より学ぶことが出来た点は大きかった。結局のところ、職員の意識改革が必要であり、今までのようにデジタル化と言ってもシステムを導入する事がデジタル化ではなく、AI活用することで業務を変える、また、各アナログ規制緩和を並行で行い、システムと政策の両輪で市を変えていく事が必要な事だと再認識できた事でこれからのデジタル化推進戦略を作成するための知識となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	時になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演会終了に基づいて、7月上旬にアンケート調査を行うため、アンケート様式を現在作成中。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 5年前と同様、市職員により次期デジタル化推進戦略を作成する。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	各部署と一緒に、計画の作成を行う。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

